

さくらジャパンのジュードメネゼス監督に質問！

Questions to Jude Menezes, **Sakura JAPAN** Head Coach

①パリ五輪に向けての準備はどんな感じですか？

6月末に韓国との練習試合、7月11日にヨーロッパに渡り、現在世界ランキング1位のオランダと2試合練習試合をしてパリ入りをします。パリに入ってからオーストラリア、イギリス、アメリカと練習試合をして本番を迎えます。初戦はドイツ戦。がんばります！応援よろしくお願いします。

②チームの強みはなんですか？またチームの目指す姿は何ですか？

強みは「チーム優先」の考えや動き。監督に就任してからチームのモットーとして言い続けてきた Team First の考えが浸透してきて、よいチームができていると思います。個ではなく、今チームに何が必要かで動く、また不言実行について常に話をしています。Action speaks louder で、行動で示すことを大切にしています。

③パリ五輪での現実的な目標はどこですか？

予選グループ内で4位以内に入ること。そこを突破すれば決勝トーナメントに進めるので、何でも起きる可能性はあると思っています。強豪国が多い厳しいグループにいますが、ダークホースとして粘り強くがんばります。

④監督として文化と言葉が違う国での難しいと思う事はなんですか？

言葉の違いは確かに大きいですが、言葉が同じでも通じ合えないことは多い。問題は「理解」の仕方にあると思います。「言葉や文化が違うから」「環境が違うから」と言われることがあります。それは自分を守るための言い訳でしかありません。成長をとめてしまう最悪の言い訳です。代表としてホッケーをすることは、英語の世界で戦うことだし、ホッケーはホッケーでどの国でも同じ。分かれよう、変わろうとする気持ちと姿勢が一番大切。そこを理解してもらうことが難しい。

⑤女子チームを導く上で、特に気にかけていることがありますか？

具体的かつ詳細であること。女性の考え方はより複雑。男性は「○○しよう！」と言えば動きますが、女性はなぜそれをするのかを理解して納得しないと動きません。

⑥今の代表選手の特徴や共通点がありますか？

やさしくて、シャイな子が多い。英語で私に話しかけるのに随分と時間がかかる子も多かったけれど、ゆっくりと話を聞けば伝えたいことを伝えてくれます。チームで話している時には面白い子はたくさんいるので、もっといろんなことに自信を持ってほしいと思います。自信をもつことと傲慢になることは違います。自信をもち、どん欲に努力し続けることはできます。努力をすることに關しては、日本の選手は頭がさがるほどの努力家が多い。あとは世界の舞台で戦うためには自分自身にもっと自信をもって立ち振る舞ってほしい。南米の選手は英語が片言だが、自分の口でインタビューに答えます。自分の考えを人に託すことをしません。セルフプロデュースをもっと自信をもってすればよいと思います。ホッケーの技術は世界でピカイチと思う選手は日本の中にいます。自信を持てばもっと伸びるのに、と歯がゆい気持ちでいます。

⑦選手としてインド代表、アシスタントコーチとしてNZ代表、そして監督として日本代表、どんな気持ちですか？

最終予選をインドの地でどよめく観客の中、インドを相手に接戦で勝った時には本当にうれしく、日本を代表してオリンピックの切符を勝ち取ったことを誇らしく思いました。成功は選手が勝ち取ったもの。僕はファシリテーター。失敗したときは僕の責任だけど、成功は僕の力ではなく、選手が勝ち取ったもの。

⑧インド、NZ、日本の3か国チームの違いや個性は何でしょう？

インドと日本は「男性優位な社会」の仕組みがまだ残っている文化という意味でよく似ています。本音が分かりにくい。指示をされることに慣れ過ぎていて、自分で決断をして動くのが苦手。NZは男女平等の文化が染みついているから、女性もオープンに意見を言います。日本のすばらしいところは、「みんなのために動く」ことは指示をしなくても動けるところ。片付けをすること、努力をすることなんかがそう。みんな勤勉。「努力しろ！」なんて言う必要がありません。

⑨監督が選手を選ぶとき、ホッケーの技術以外で見るポイントは何ですか？

柔軟な性格かどうか。アドバイスや変化を受け入れられる性格かどうか。

⑩世界の舞台で活躍する人の共通点は何だと思いますか？

はっきりした計画とビジョンをもっていること。目的がはっきりしていること。そして、その目的は自分のためではなく、共有されているものであること。「だれかのために」「なにかのために」何をするべきかわかっている人。

⑪勝つチーム、負けるチームの違いは何だと思いますか？

すべては頭と心の中の準備力にあると思います。あらゆる状況や心境を想定して、その状況をいかに打破するか、どう対処するかのプロセスが頭に入っていること。想定していれば落ち着いていられる。想定外の事が起こると、人間は感情に持っていかれてしまいますから。

⑫短時間で的確な指示を出すのはコツがあると思います。特に試合中の限られた時間に外国語で指示を出すために何か工夫をされていますか？

試合中メモを取り、大切なメッセージは何かを見極めて、最大2つしか言わないようにします。新しいメッセージはひとつもなく、すべては練習の時に話していることだから、「今」言う必要があることは何か、それを判断するだけ。何も言わなくていい時もあります。「今のままでいい、行け！」って。

⑬忍耐力、逆境をばねにする力を鍛える方法がありますか？

「間違っても、失敗しても大丈夫」「それはいいことだ」と常に言い聞かせること。

⑭インドではホッケーが国技ですが、ホッケー競技や監督自身の扱いなど何が違いますか？

インドでは試合前の練習会場に、常にテレビカメラ&レポーターが30人は来ています。選手が到着する空港にはもっとたくさんの取材班がきます。インド出身で外国チームの監督を務めたことがあるのは過去に3人。自分が3人目で、2人目は随分前の人だから、そこは誇れるところかな。オリンピックを決めて帰国した時に空港で待っていたのは、携帯電話をもったレポーターひとりで、録音インタビューというのは寂しかったです。

⑮監督の思うホッケーの魅力はなんですか？

スピード感。

⑯大変な状況で、平常心を保つコツはありますか？

まず水を一口飲みます。自分が他人にどう見えているか、自分の感情や態度がどのように周りに影響するかは常に意識しています。そうすれば取り乱すことはないはず。問題が起こったとき、その問題はみんなが分かっている事だから指摘する必要はありません。必要なのは合理的な対処法について。「じゃあ、どうすればいいか」ということを考えて示すだけです。

⑰日本の食べもので好きな物はなんですか？

てりやきチキン丼

⑱日本で行ってみたいところはどこですか？

沖縄（まだ行ったことがない）

⑲七夕の短冊に願いを書くとしたら何ですか？

「パリオリンピックでメダル獲得」（大きいことは口にしたくない性格だけど、こっそり書くなら）